

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyouhou.html>



令和8年 稲作情報 vol.7

〔問い合わせ先〕 南会津農林事務所農業振興普及部 Tel 0241-62-5262
 南郷普及所 Tel 0241-72-2243
 J A 会津よつば田島営農経済センター Tel 0241-63-1172
 南郷営農経済センター Tel 0241-72-2554

●チェックポイント

- ・落水は出穂後30日を目安に行いますが、降雨や土壌の種類により田面がぬかるんでいる場合は間断かん水で田面を固めるようにしましょう。
- ・出穂後の積算気温や籾の黄化率から刈取時期を判断し、適期に収穫しましょう。
- ・丁寧な乾燥調製作業で、良質な米を仕上げましょう。

1 気象情報（仙台管区気象台 8/27 発表、1 か月予報 8/29～9/28）

暖かい空気に覆われるため、向こう1か月の気温は高く、気温は高くなる見込みです。降水量・日照時間は平年並みでしょう。向こう1か月の天候は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

2 生育状況

下郷町の「里山のつづ」の出穂期は平年より1日遅い8/7でした。

只見町の「コシヒカリ」の出穂期は平年並の8/8でした。

南会津町の「ひとめぼれ」の出穂期は平年より2日遅い8/7でした。

気象庁の1ヶ月予報では、平年より気温が高くなる見込みであるため、刈取時期は早くなると予想されます。

品種名（場所）	出穂期 （平年比）
里山のつづ （下郷町）	8/7（+1日）
コシヒカリ （只見町）	8/8（±0日）
ひとめぼれ （南会津町）	8/7（+2日）

3 水管理について

水稻では、出穂からおよそ25日間で玄米の長さ、幅、厚みが決まります。

落水は出穂後30日以降を目安に行いますが、田面の状態を確認し、ぬかるんでいる場合は間断かん水か、早めの落水で田面を固めましょう。

4 適期刈取について

刈取時期は玄米品質に大きく影響します。適期より早く刈取を行うと青未熟粒が多く、適期より遅れると胴割粒や乳白粒が多くなります。適期刈取を行い、全量 1 等を目指しましょう。

刈取適期については、出穂後の積算気温から予測が可能です。刈取を行う際は、積算気温だけではなく、籾の黄化率についても確認しましょう。

(1) 出穂後の積算気温による収穫適期の予測

出穂後の日平均気温を積算し、収穫適期を予測しましょう。積算気温が 1200℃を超えると、急激に胴割粒が発生し、落等の原因となります。

表 1 に、作柄判定ほにおける刈取適期の目安を記載しています。また、以下の表 2 に出穂期ごとの積算気温の到達日を記載しています。収穫する際の参考にしてください。

表 1 品種別の積算気温による刈取適期の目安

品種名	刈取適期の目安となる積算気温	出穂期 (R8)	刈取適期目安 (参考)
里山のつぶ (下郷町)	1000～1200℃	8/7	9/27～10/11
ひとめぼれ (南会津町)	950～1200℃	8/7	9/24～10/11
コシヒカリ (只見町)	1000～1200℃	8/8	9/25～10/7

※出穂期は作柄判定ほより。刈取適期は作柄判定ほの出穂期からの予測日

※8/24 まではアメダスの実測値、8/25 以降は平年値より算出した。

表 2 出穂後の積算気温による刈取適期の予測

アメダス 地点	出穂期	積算気温到達日					
		収穫早い	刈取適期				刈遅れ
		900℃	950℃	1000℃	1050℃	<1200℃	1250℃
田島	7/25	9/5	9/8	9/10	9/13	9/20	9/24
	8/1	9/13	9/16	9/19	9/22	10/1	10/5
	8/5	9/18	9/21	9/24	9/27	10/7	10/12
	8/10	9/24	9/27	9/30	10/4	10/14	10/20
南郷	7/25	9/4	9/6	9/9	9/11	9/18	9/22
	8/1	9/12	9/14	9/17	9/20	9/28	10/2
	8/5	9/17	9/20	9/22	9/25	10/4	10/9
	8/10	9/22	9/25	9/28	10/1	10/11	10/16
只見	7/25	9/3	9/5	9/8	9/10	9/17	9/20
	8/1	9/11	9/13	9/16	9/19	9/26	9/30
	8/5	9/16	9/18	9/21	9/24	10/2	10/7
	8/10	9/21	9/24	9/27	9/30	10/9	10/13

※8/24 まではアメダスの実測値、8/25 以降は平年値より算出

※田島地区の「ひとめぼれ」が 8/10 に出穂した場合、刈取適期は 9/27～10/14 となります。

(2) 粳の黄化率

積算気温から刈取適期を予測したら、粳の黄化率をもとに実際の刈取時期を判断しましょう。穂について粳のうち 80～90%が黄化した頃が刈取の目安です。

※穂もちが発生した場合は、稔実粳数が少なくなり登熟が早まるため、刈り遅れないようにしましょう。

5 乾燥・調製について

(1) 乾燥

・収穫期の粳には 25%前後の水分が含まれていますが、これを 15%程度まで低下させます。乾燥作業のポイントは乾燥温度・乾燥速度・仕上げ水分の 3 点です。

・高温による乾燥は食味を低下させます。粳水分 25%の場合、送風温度 40℃以下が目安です。高水分の粳は二段乾燥※を行い、乾燥ムラを防止してください。

※二段乾燥：粳水分 18%で一旦感想を停止し、5 時間休止後に仕上げ乾燥を行う方法。

・乾燥速度（乾減率）は毎時 0.8%を目安とし、仕上げ水分 15%を目標としましょう。急激な乾燥は胴割米発生の原因となります。

(2) 調製

・肌ずれを防ぐため、粳が常温になってから粳摺りを行いましょう。脱ぶ率の目安は 80～85%です。

・選別作業では、流量は機械能力の 70%としましょう。流量が多いとくず米が混入しやすくなります。

・網目は 1.9mm（サイズ LL）を使用します。

・斑点米カメムシ類による被害粒がみられる場合は、色彩選別機を使用し、玄米品質の確保に努めましょう。

6 米のモニタリング検査について

令和 8 年産米についても、モニタリング検査を行います。

・各町ごとに 1 点の玄米サンプルを採取し、検査を行います。

・検査結果が公表されるまで、出荷・販売（無償譲渡を含む）を控えてください。

・出荷・販売に支障が出ないよう、米の収穫が早い生産者から検査サンプルを採取します。生産者や米集荷販売業者の皆様には御理解と御協力をお願いします。

7 農作業事故や熱中症に注意しましょう

秋は収穫や管理作業で農業機械を利用する機会が増えるとともに、日没も早まることで、農作業事故の危険性が高まります。自脱型コンバイン等での旋回時の転落や、他の作業者を轢いてしまうなどの事故に注意しましょう。

また、暑い日が続いていますので、熱中症に注意して農作業を行いましょう。